ABH3 CAN 通信 ホスト用サンプルソフト仕様

1	パラ	・メータ	. 2
2	CAN	N プロトコル概要	. 3
	2.1	シングルパケット(DP=0)	. 3
	2.2	<u>シングルパケット(DP-1)</u>	. 3
	2.3	ブロードキャストパケット(0x28)	. 3
	2.4	ブロードキャストパケット(0x29)	. 3
	2.5	ブロードキャストパケット(0x2a)	. 4
	2.6	ブロードキャストパケット(0x2b)	. 4
	2.7	ブロードキャストパケット(0x2c)	. 4
	2.8	ブロードキャストパケット(0x2d)	. 4
	2.9	ブロードキャストパケット(0x2e)	. 5
3	デー	- 夕型	. 6
4	関数	灯定義	. 7
	4.1	CAN と指令の初期化	
	4.2	指令の送信(軸別)	. 7
	4.3	指令の送信(同時)	. 8
	4.4	入力の送信(一括)	
	4.5	入力の送信(ビット)	
	4.6	積算値のリクエスト	
	4.7	ブロードキャストパケットのリクエスト	
	4.8	CAN を閉じる	10
	4.9	各種変換用関数	11
	4.10	戻り値の構造体(共用体)	11

1 パラメータ

サンプルソフトの動作条件を固定するため、ABH3の CAN 用パラメータは以下の設定とする。

名称	設定値	備考
CAN 機能	有効	
ボーレート	250[kbps]/500[kbps]	任意であり、ホスト機器の上限
	/1[Mbps]	値とする。
ABH3 アドレス	1	
ホスト機器アドレス	2	
シングルパケット 0 送信方式	-1:受信時応答	ABH3 は受信時に応答する
ブロードキャスト送信グループ番号	5	
ブロードキャスト 0 送信方式	0:リクエストのみ	ABH3 はリクエストに応答する
ブロードキャスト 1 送信方式	0:リクエストのみ	ABH3 はリクエストに応答する
ブロードキャスト 2 送信方式	0:リクエストのみ	ABH3 はリクエストに応答する
ブロードキャスト 3 送信方式	0:リクエストのみ	ABH3 はリクエストに応答する
ブロードキャスト 4 送信方式	0:リクエストのみ	ABH3 はリクエストに応答する
ブロードキャスト5送信方式	0:リクエストのみ	ABH3 はリクエストに応答する
ブロードキャスト6送信方式	0:リクエストのみ	ABH3 はリクエストに応答する
ブロードキャスト7送信方式	0:リクエストのみ	ABH3 はリクエストに応答する
ブロードキャスト受信グループ番号 1	なし	
ブロードキャスト受信グループ番号 2	なし	
ブロードキャスト受信グループ番号3	なし	
ブロードキャスト受信グループ番号 4	なし	
シングルパケット優先順位	0	
ブロードキャストパケット優先順位	0	
指令ゼロ タイムアウト判定値	500	
異常判定 タイムアウト判定値	1000	

2 CAN プロトコル概要

2.1 シングルパケット(DP=0)

内容	CAN-ID				DA	TA			
四	CAN-ID	1	2	3	4	5	6	7	8
ホスト機器から ABH3	0x00ef0102	A/Y	指令	B/X	指令		入力(b	it 対応)	
ABH3 からホスト機器	0x00ef0201	A 速度帰還		B 速度	度帰還	Y 速度	度帰還	X 速度	度帰還

2.2 - シングルパケット(DP-1)

内容	CAN-ID				ÐA	TA			
1.1 .D	CAN-ID	1	2	3	4	5	6	7	8
ホスト機器から ABH3	0x01ef0102								
ABH3 からホスト機器	0x01ef0201	-	Aパルフ	、積算値	ŧ	_	Bパルフ	ス積算値	Î.

[※]本仕様は保留とする。

2.3 ブロードキャストパケット(0x28)

内容	CAN-ID				DA	TA				
四	CAN-ID	1	2	3	4	5	6	7	8	
ホスト機器から ABH3	0x00ea0102	(0x00ff28							
ホスト機器から全 ABH3	0x00eaff02	(0x00ff28							
ABH3 からホスト機器	0x00ff2801	異常	異常フラグ(bit 対			警	告フラク	ブ(bit 対	応)	

2.4 ブロードキャストパケット(0x29)

内容	CAN-ID				DA	TΑ			
1.1 .口	CAN-ID	1	2	3	4	5	6	7	8
ホスト機器から ABH3	0x00ea0102	(0x00ff29	9					
ホスト機器から全 ABH3	0x00eaff02	(0x00ff29	9					
ABH3 からホスト機器	0x00ff2901	制征	制御フラグ(bit 対			I (コフラク	で(bit 対	応)

2.5 ブロードキャストパケット(0x2a)

内容	CAN-ID				DA	TA			
四		1	2	3	4	5	6	7	8
ホスト機器から ABH3	0x00ea0102	(0x00ff2a						
ホスト機器から全 ABH3	0x00eaff02	(0x00ff2	a					
ABH3 からホスト機器	0x00ff2a01	A/Y 速	A/Y 速度指令 B/X			A/Y 速	度帰還	B/X 速	度帰還

2.6 ブロードキャストパケット(0x2b)

内容	CAN-ID -				DA	ТА			
四		1	2	3	4	5	6	7	8
ホスト機器から ABH3	0x00ea0102	(0x00ff2b						
ホスト機器から全 ABH3	0x00eaff02	(0x00ff21	o					
ABH3 からホスト機器	0x00ff2b01	A/Y 電	A/Y 電流指令 B/X		流指令	A負	荷率	B負	荷率

2.7 ブロードキャストパケット(0x2c)

内容	CAN-ID				DA	ТА			
1.1.4	CAN-ID	1	2	3	4	5	6	7	8
ホスト機器から ABH3	0x00ea0102	(0x00ff2	С					
ホスト機器から全 ABH3	0x00eaff02	(0x00ff2	С					
ABH3 からホスト機器	0x00ff2c01	Aパルス積算値			ĺ		Bパルン	ス積算値	Ī

2.8 ブロードキャストパケット(0x2d)

内容	CAN-ID				DA	TA			
四日	CAN-ID	1	2	3	4	5	6	7	8
ホスト機器から ABH3	0x00ea0102	(0x00ff2	d					
ホスト機器から全 ABH3	0x00eaff02	(0x00ff2	d					
ABH3 からホスト機器	0x00ff2d01	アナロ:	グ入力 0	アナロ	グ入力 1	主電源	原電圧	制御電	源電圧

2.9 ブロードキャストパケット(0x2e)

内容	CAN-ID				DA	ТА			
1.14	CAN-ID	1	2	3	4	5	6	7	8
ホスト機器から ABH3	0x00ea0102	(0x00ff2	e					
ホスト機器から全 ABH3	0x00eaff02	(0x00ff2	e					
ABH3 からホスト機器	0x00ff2e01	,	モニタ() データ		,	モニタ	l データ	

3 データ型

内容	単位	範囲
速度 指令・帰還	0.2[min ⁻¹]	-6553.6[min ⁻¹]~0[min ⁻¹]~6553.4[min ⁻¹]
電流 指令・帰還	0.01[%]	-327.68[%]~0.00[%]~327.67[%]
パルス積算値	1[Pulse]	-2147483648[Pulse]~0[Pulse]~2147483647[Pulse]
負荷率	1[%]	0[%]~255[%]
主電源電圧・制御電源電圧	0.1[V]	0.0[V]~6553.5[V]
アナログ入力	0.01[V]	-327.68[V]~0.00[V]~327.67[V]
モニタデータ	_	単精度実数(float)

※複数バイトのデータはリトル・エンディアンとする。

※モニタデータは浮動小数点(float)、その他は整数(short / long)とする。

4 関数定義

4.1 CAN と指令の初期化

関数 1 int abh3_can_init(CAN_ABH3 *abh3Ptr)

関数 2 int abh3_can_port_init(CAN_ABH3 *abh3Ptr)

関数 3 int abh3_can_cmd_init(CAN_ABH3 *abh3Ptr)

引数 abh3Ptr : CAN ABH3 構造体へのポインタ

戻り値 エラー状態(0:正常、0以外:異常)

内容

CAN ポートを開く。

指令及び入力のすべてを 0 にし、シングルパケット DP0 を送信する。

シングルパケット DP0 を受信したら戻る。(タイムアウト判定時は異常終了)

関数 1	関数 2	関数 3
CAN ポートオープン	CAN ポートオープン	A/Y 指令= 0
A/Y 指令= 0		B/X 指令= 0
B/X 指令= 0		入力(bit 対応)= 0
入力(bit 対応)=0		DP0 送信/DP0 受信
DP0 送信/DP0 受信		

4.2 指令の送信(軸別)

関数 1 int abh3_can_cmdAY(CAN_ABH3 *abh3Ptr, short cmd, struct *ptr)

関数 2 int abh3_can_cmdBX(CAN_ABH3 *abh3Ptr, short cmd, struct *ptr)

引数 abh3Ptr : CAN ABH3 構造体へのポインタ

cmd:指令值

ptr:戻り値の構造体へのポインタ

戻り値 エラー状態(0:正常、0以外:異常)

内容

関数毎に指令を設定し、シングルパケット DP0 を送信する。

シングルパケット DP0 を受信したら戻り、値を設定する。(タイムアウト判定時は異常終了)

※未指定の指令値と入力は以前のデータを使用する。

 関数 1
 関数 2

 A/Y 指令= cmd
 B/X 指令= cmd

 DP0 送信/DP0 受信
 DP0 送信/DP0 受信

 *ptr=受信データ
 *ptr=受信データ

4.3 指令の送信(同時)

関数 int abh3 can cmd(CAN ABH3 *abh3Ptr, short cmdAY、short cmdBX, struct *ptr)

引数 abh3Ptr : CAN_ABH3 構造体へのポインタ

cmdAY: A/Y 指令值 cmdBX: B/X 指令值

ptr: 戻り値の構造体へのポインタ

戻り値 エラー状態(0:正常、0以外:異常)

内容

指令を設定し、シングルパケット DP0 を送信する。

シングルパケット DP0 を受信したら戻り、値を設定する。(タイムアウト判定時は異常終了) ※未指定の指令値と入力は以前のデータを使用する。

関数

A/Y 指令=cmdAY

B/X 指令=cmdBX

DP0 送信/DP0 受信

*ptr=受信データ

4.4 入力の送信(一括)

関数 int abh3_can_inSet(CAN_ABH3 *abh3Ptr, long data, long mask, struct *ptr)

引数 abh3Ptr : CAN ABH3 構造体へのポインタ

data:データ値 mask:マスク値

ptr: 戻り値の構造体へのポインタ

戻り値 エラー状態(0:正常、0以外:異常)

内容

マスク値が1のデータを入力に設定し、シングルパケット DP0 を送信する。

シングルパケット DP0 を受信したら戻り、値を設定する。(タイムアウト判定時は異常終了) ※未指定の指令値は以前のデータを使用する。

関数

入力=(入力 & ~mask) | (data & mask)

DP0 送信/DP0 受信

*ptr=受信データ

4.5 入力の送信 (ビット)

関数 int abh3_can_inBitSet(CAN_ABH3 *abh3Ptr, char num, char data, struct *ptr)

引数 abh3Ptr : CAN ABH3 構造体へのポインタ

num:ビット番号(0~31) data:設定データ(0~1)

ptr: 戻り値の構造体へのポインタ

戻り値 エラー状態(0:正常、0以外:異常)

内容

ビット番号で指定された入力をデータの値とし、シングルパケット DP0 を送信する。 シングルパケット DP0 を受信したら戻り、値を設定する。(タイムアウト判定時は異常終了) ※未指定の指令値は以前のデータを使用する。

関数

入力=(入力 & ~(1<<num)) | (data << num) DP0 送信/DP0 受信 *ptr=受信データ

4.6 積算値のサクエスト

関数 int_abh3_can_reqPulse(struct *ptr)

引数 ptr:戻り値の構造体へのポインタ

戻り値 エラー状態(True:正常、False:異常)

内容

シングルパケット DP1 を送信する。

シングルパケット DP1 を受信したら戻り、値を設定する。(タイムアウト判定時は異常終了)

関数

DP1 送信/DP1 受信

*ptr=受信データ

※本仕様は保留とする。

4.7 ブロードキャストパケットのリクエスト

関数 1 int abh3_can_reqBRD(CAN_ABH3 *abh3Ptr, int num, struct *ptr)

関数 2 int abh3_can_reqBRDBRD(CAN_ABH3 *abh3Ptr, int num, struct *ptr)

引数 abh3Ptr : CAN_ABH3 構造体へのポインタ

num:番号(0x00~0xff)

ptr:戻り値の構造体へのポインタ

戻り値 エラー状態(0:正常、0以外:異常)

内容

引数の番号のブロードキャストリクエストを送信する。

指定したブロードキャストを受信したら戻り、値を設定する。(タイムアウト判定時は異常終了)

関数 1

BR 送信(送信 ID=ホスト ID)/BR 受信 *ptr=受信データ

関数2

BR 送信(送信 ID=ブロードキャスト:0xff)/BR 受信 *ptr=受信データ

4.8 CAN を閉じる

関数 int abh3_can_finish(int num, struct *ptr)

引数 abh3Ptr : CAN ABH3 構造体へのポインタ

戻り値 エラー状態(0:正常、0以外:異常)

内容

CAN ポートを閉じる。

4.9 各種変換用関数

種別	変換内容	関数名
速度	float から CAN	short cnvVel2CAN(float vel)
	CAN から float	float cnvCAN2Vel(short vel)
電流	float から CAN	short cnvCur2CAN(float cur)
	CAN から float	float cnvCAN2Cur(short cur)
負荷率	CAN から float	float cnvCAN2Load(short load)
アナログ入力	CAN から float	float cnvCAN2Analog(short analog)
電源電圧	CAN から float	float cnvCAN2Volt(short volt)
実数	float から Pack-float	PACK_FLOAT flt_to_pkflt(float flt)
	Pack-float から float	float pkflt_to_flt(PACK_FLOAT pkflt)
	文字列から Pack-float	int str_to_pkflt(const char *str, PACK_FLOAT *p_pkflt)
	Pack-float から文字列	char *pkflt_to_str(PACK_FLOAT pkflt, char *str)

4.10 戻り値の構造体(共用体)

型名	内容	
DP0S	A/Y 指令、B/X 指令、入力	
DP0R	A 速度帰還、B 速度帰還、Y 速度帰還、X 速度帰還	
DP1R	A パルス積算値、B パルス積算値	
BR0	異常フラグ、警告フラグ	
BR1	制御フラグ、IOフラグ	
BR2	A/Y 速度指令、B/X 速度指令、A/Y 速度帰還、B/X 速度帰還	
BR3	A/Y 電流指令、B/X 電流指令、A 負荷率、B 負荷率	
BR4	A パルス積算値、B パルス積算値	
BR5	アナログ入力 0、アナログ入力 1、主電源電圧、制御電源電圧	
BR6	モニタ 0 データ、モニタ 1 データ	
BUF	8バイトデータ	